

生き生き  
学びあうまち  
東大和

# 東やまと 教育委員会だより



第75号

平成29(2017)年2月15日

発行: 東大和市教育委員会

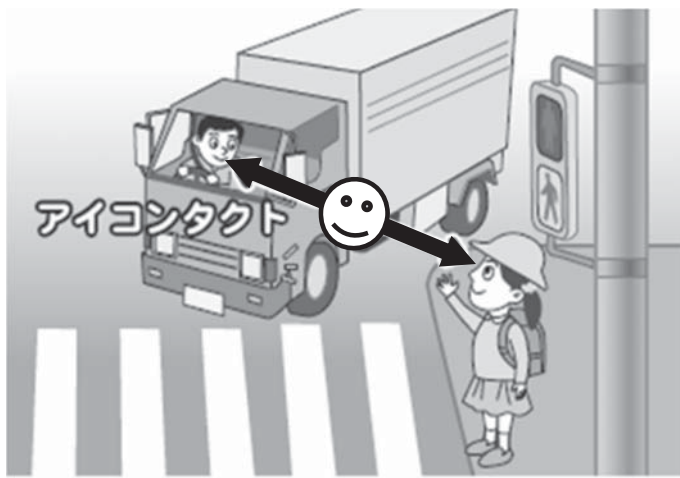
〒207-8585

東大和市中心3-930

TEL 042-563-2111

編集: 学校教育課

## 交差点では アイコンタクト!



青信号で横断歩道を渡るときでも、必ず「右と左の安全確認」をしましょう。

近くに車があるときには、運転手が自分のことを見つけてくれているか確かめましょう。

保護者の  
皆さまへ

ご家庭でも交通安全教育をお願いします。

- ★道路に飛び出さないこと
- ★信号を守ること
- ★青信号でも右左の安全を確認すること
- ★道路では遊ばないこと

## 新年を迎えて



教育長 真如 昌美

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、謹んで新春のお慶びを申し上げます。1月9日(祝日)に行われた第63回東大和市成人式、前日までは次代を担う成人たちを祝うように穏やかですばらしい天気に恵まれました。

今年の東大和市の新成人は、848人、その内、式典会場のハミングホールには607人の出席がありました。新成人の代表による爽やかな誓いの言葉からは、次代をたくましく切り開いていこうとする強い意志がしっかりと伝わってきました。

新成人の皆さまには、これからも健康に留意しながら、社会を構成する一員として存分に力を発揮して下さいを期待しています。続いて、1月21日(土)と22日(日)の2日間開催した、第36回東大和市立小・中学校連合書初め展には、3543人も保護者、地域の方々がお見えになりました。今年の作品については、全体のバランスがよく取れていること、どれも伸びやかで形も整っており、普段の指導の様子が見えてくるなどの評価も多く頂きました。また、会場には友好都市である喜多方市の児童・生徒の作品や、都立東大和高校、東大和南高校の生徒の作品も展示され、新年を迎えた清新な雰囲気にも含まれていました。

日本の社会はグローバル化の進展、急速な情報化や人工知能(AI)の飛躍的な開発など、「第4次産業革命」とまで言われるほどに技術革新が進んできています。さらに、少子高齢化等を背景に、社会構造に、大きな変化が見られるようになってきました。

教育を考えたとき、子どもたちの成長を支える教育のあり方についても改革の必要性に直面していることは明らかです。

今年も、国や都の教育改革をしっかりと見つけ、常に新鮮な気持ちで教育の充実に取り組んでまいります。

どうぞよろしく願っています。

※東大和市ホームページに教育長日記「青い空に浮かぶ白い雲」を掲載しています。ぜひご覧ください。

不審者  
注意

声かけ・見守りにご協力ください。

### 集中力



教育長職務代理者  
武石 修一郎

明けましておめでとうございます。日頃より、東大和市の教育にご協力を頂きありがとうございます。

さて、昨年はリオオリンピック・パラリンピックが開催され、日本人選手の活躍に多くの人が感動したことかと思えます。幼い頃から競技をはじめて将来はオリンピックに出場してメダルを獲ると夢を持ち続け日々の努力は大変なものであったかと思えます。競技の練習の他にも体調の管理、精神面の充実など四年に一度の大舞台でその成果を発揮できたことは並々ならぬ努力と

素晴らしい集中力があつてのことと思えます。集中力とよく耳にしますが、皆さんも子どもの頃テレビに夢中になり周りの声が聞こえない、遊びに夢中になり時が経つのを忘れ遅くまで楽しいことや、好きなことに夢中になることがあつたと思います。誰もがみんな好きなことには集中できる力があつてほしいです。

東大和市の子どもたちも最近、勉強やスポーツ、音楽など様々なジャンルでの活躍が多くなつています。いろいろな物事に挑戦し楽しいこと、好きなことを発見できる一年にして欲しいと思います。東大和市の子どもたちにとって輝かしい一年になることを願う年頭のあいさつとさせていただきます。



### 力を合わせて



教育委員  
岩田 圭子

新年あけましておめでとうございます。日頃より教育委員会に多大なるご理解・ご協力を頂き、感謝しお礼を申し上げます。

昨年は教育委員会の改革により、市長との総合教育会議が開催され、学校教育・社会教育と多岐に渡り話し合いが行われる中で、相互に理解し協力する事の大切さを確認し合う事ができました。昨年は、自然災害の多い年でもありました。どのような状況下でも自分の判断で身を守る行動がとれる子どもに育つて欲しいと思います。何を優先してでも「生命」を

守る事が大事です。明るいニュースとしては、リオデジャネイロで行われたオリンピック・パラリンピックが記憶に残っています。大活躍してメダルを手にした選手も大勢いて感動しましたが、それを支える多くの人たちが関わつていてこそドラマがたくさんあり学ぶべき事の多さを知ることができ、次回の東京大会でも是非この感動を味わいたいという気持ちも強くなりました。四月からはいよいよ待ちに待った新しい給食センターが稼働します。より安全で安心な給食を提供できる事と思えます。どうぞご期待ください。子どもを取り巻く環境は厳しいものであると思います。周りの大人がしっかりと手を携えて協力していく体制が作られていく事を期待いたします。お互いに頑張りましょう。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 志を高く持とう



教育委員  
藤宮 志津子

新年おめでとうございます。西年は、機が熟す年といえます。一人ひとりが抱いた「高い志」に根ざした生き方をして、その努力が、百パーセントの自信となり、必ずや実を結んでくれますように、年頭にあたり、心より、お祈り申し上げます。

自分の道を真つすぐ行こう。時間をかけて、磨いて行こう。内閣総理大臣安倍晋三氏が応援しています。「あなたの未来を決めるのはあなた自身です。チャレンジして下さい。」東京都知事小池百合子氏がエールを送つ

ています。「あなたが抱く希望こそが、明るい未来を切り拓く力。希望の華を咲かせよう。」東大和市長尾崎保夫氏が目標に掲げています。「人と自然が調和した生活文化都市日本一子育てしやすいまち。」東大和市教育委員会は、個性と創造力豊かな社会に貢献しようとする、何よりも思いやりと規範意識のある人間育成に力を注ぐべく、学校教育、社会教育の充実を図り、強い連携を持って進んでいく所存です。家庭と学校と地域の教育力を高めるために、皆さまの益々のお力添えをお願い申し上げます。



### 人間は「希望」を紡がなければ、未来に「投金」できない



教育委員  
新藤 久典

新年あけましておめでとうございます。皆さまも新たな思いを胸に新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

表題に掲げた言葉は、フランスの哲学者 J. P. サルトル(1905-1980)がその著書『実存主義とは何か』で述べている言葉です。この言葉は、「昨年11月にNHK教育テレビで放映された『100分de名著』を視聴して初めて知りました。現代社会は専門家でも予測不可能な劇的な変化を遂げ続けており、しかも、特に若い人たちに与えては夢や希望を描くのが非常に困難な時代

を迎えています。そうした時代であるからこそ、サルトルが唱えたように、未来に希望を紡がなければ、前を向いて歩いて行くことはできません。私は、学校教育の最大のミッションは、子どもたちに「希望」を与えることだと確信しています。そのためには、まず、大人である私たちが未来への希望を真剣に語る必要があります。サルトルは「認識においては『悲観主義』でも、意志においては『楽観主義』で在らねばならない。」とも述べています。新しい年を楽観的に捉え、一歩一歩着実に歩いて行こうと思います。



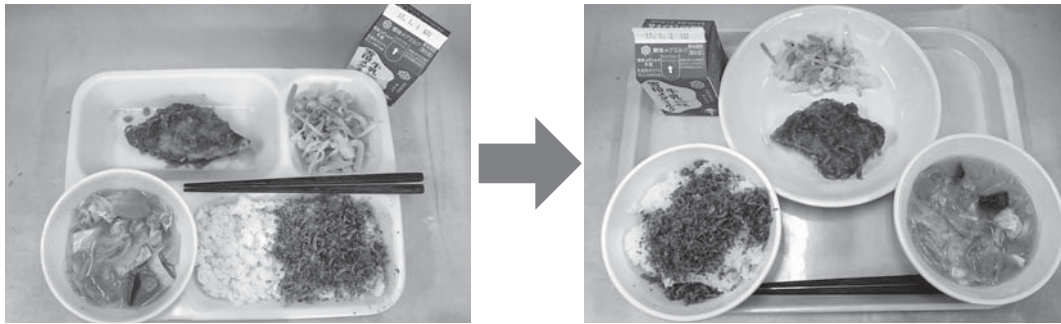
登下校は複数で、ひとは避けよう。



# ～4月から学校給食食器が変わります～

4月の学校給食から個々食器を導入します。個々食器を使用した際の盛り付けイメージを紹介します。  
(現在、検討中の内容です。実際の給食では変更になる場合があります。)

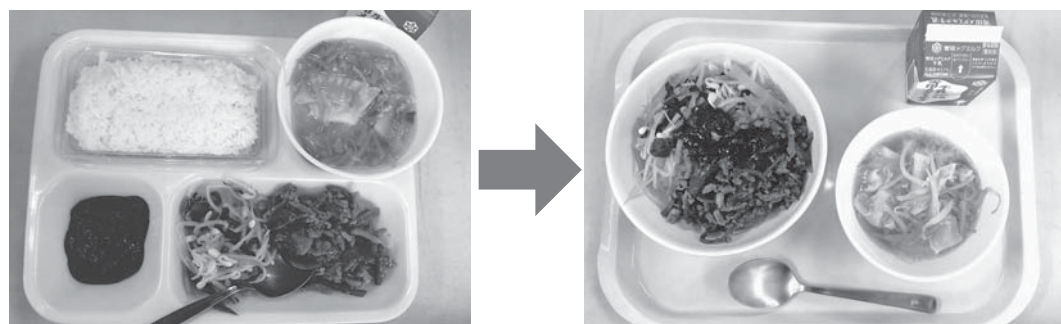
- (1) 「ごはん (じゃこふりかけ)、冬至汁 (かぼちゃ入り)、白身魚の香味ソースがけ、白菜のサラダ (和風ドレッシング)」の場合  
ごはんをお茶碗に盛り付けます。



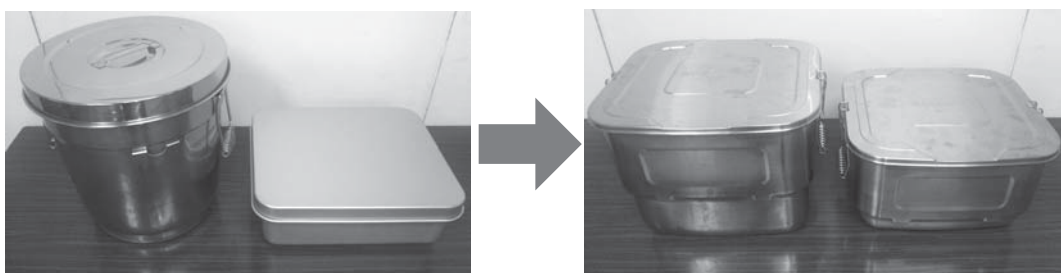
- (2) 「ごはん、ポークカレー、海藻サラダ (青じそドレッシング)、フルーツヨーグルトゼリー」の場合  
ごはんとカレーを1つのお皿に盛り付けます。 ※ スパゲッティなども同じ



- (3) 「ワンタンスープ、ピピンバ (ごはん、肉、野菜、たれ)」の場合  
ごはんとピピンバの具を1つのお皿 (丼) に盛り付けます。 ※ うどん、中華丼なども同じ



食缶 (給食が入っている金属製の容器) も変わります。  
食缶は、スペースの有効活用のため、丸から四角に変更し、より保温性が高いものになります。  
四角い食缶は、大小あり、大きいものは「ごはん、汁もの等」に、小さいものは「おかず」に使用する予定です。



外出時には防犯ブザーを携帯しよう。

**平成28年度 東京都 児童・生徒の  
学力向上を図るための調査結果について**

平成28年7月7日(木)に実施した東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(対象：小学校5年生・中学校2年生)結果についてご報告します。

小学校は、国語、社会、算数で、中学校は、国語で東京都と平均正答率の差を縮めることができました。特に、小学校の国語・社会・算数については、平成26年から、3年連続で東京都との差を縮め、徐々に東京都の平均正答率に近づいてきています。

意識調査において、昨年度課題となっていた「学校以外で毎日およそどのくらいの学習しますか。」の質問に「学習をすることはない。」と答えた児童・生徒は、小学校は、昨年度同様9%、中学校は、約25%から約28%と増加していました。

東大和市としては、放課後及び土曜日等に実施している補習教室を活用するなど、学校以外で学習する習慣を家庭や地域と連携して児童・生徒に付けております。

また、読書習慣については、「(一日に)読書をするのではない」と答えた小学生は、今年度は、昨年度同様、11%でした。中学生についても、20%から23%に増加しました。

各学校では、朝読書の取組や学校図書館指導員を活用した学校図書館の充実を図っています。より一層の読書環境を充実していきたいです。

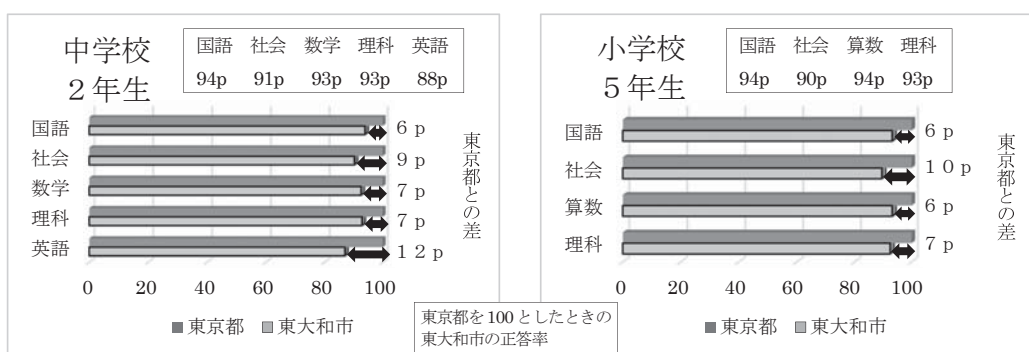
一緒に本を読む、読み聞かせをするなどして、親子で楽しく本と触れ合うことが、読書の習慣を身に付ける第一歩とも言われています。

読書が好きな子どもに育てるためには、  
①幼い頃からの読み聞かせで本に親しませる。  
②図書館等と一緒にいき、本に触れる機会を増やす。  
③子どもの自主性を尊重し、読書を楽しむ時間を確保する。  
④無理に感想を聞き出さない。  
⑤大人も一緒に読書を楽しむ。

など、いくつかの方法が考えられます。

さらに、「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていると思いますか。」については、小学生は93%が、中学生は82%が肯定的に捉えています。このように学校では、教師が児童・生徒に、一時間の授業の中で、何を学ぶかを示し、児童・生徒が主体的に学習に取り組めるよう努めてまいります。

今後、小・中学校では、子どもたちが主体的に学ぶことができるよう授業改善に努めます。また、学校と家庭・地域が連携し、より一層児童・生徒の学力が向上するように取り組んでまいります。



**体力向上に関わる特別授業プログラム「やまとっくん 体力向上教室」**

市内小・中学校の子どもたちの体力向上を図るため、陸上競技等の専門家を派遣し、体育の授業等を活用した特別授業プログラム「やまとっくん 体力向上教室」を1月から2月にかけて実施しています。

今年度は、市内5校の小学校を対象とし、特に走り方を中心に分かりやすく指導する内容となっています。

子どもだけでなく保護者にも参加していただくことで運動の楽しさを知ってもらい、豊かなスポーツライフを確立してもらうことを目指しています。

また、講師派遣をお願いした事業者の計らいで、日本陸上競技連盟からリオデジャネイロオリンピック大会陸上男子400mリレーで実際に使用したバトンや、競技の様子を撮影した写真を展示していただきました。本物を間近に見た子どもたちは、代表選手の活躍を思い出し、じっと見入っていました。



**不審者と遭遇したら、大声・防犯ブザーで助けを求めよう。**





▲東京都立東大和高等学校陸上部の皆さまと (東大和南公園)

平成28年度  
第8回中学生「東京駅伝」大会〔中・高連携!〕

平成29年2月5日(日)、味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園特設周回コースにて、区市町村対抗第8回中学生「東京駅伝」大会が開催されました。

本大会は、東京都の中学校教育の一環として、中学生の健康

増進や持久力をはじめとする体力向上、スポーツの振興及び児童・生徒の競技力の向上を目的に東京都教育委員会主催により中学校第2学年を対象に実施されるものです。

東大和市駅伝チームは、市内5校の中学校から選考会を経て選ばれた男女各21人の中学生で構成されています。

今年度も、東京都立東大和高等学校陸上部の皆さまにご協力いただき、合同練習会を実施してきました。

代表選手は、陸上部だけではなく、様々な部活動に所属しています。今年度は、各学校から男女合わせて約100人の候補者が練習会に参加し、2回のタイム計測を経て選ばれました。平成28年12月10日(土)に行われた結団式では、「選ばれなかった人の分までがんばりたい」「抜かれたら、抜き返すつもりで走りたい。」などの選手たちからの言葉があり、選ばれたことへの自覚と大会に賭ける強い気持ちを感じられました。先輩方が築き上げてきた伝統に新たな

ページを刻む意味でも、選手たちのやる気がみなぎっていました。

東大和高校陸上部の皆さまからは、走り方を指導していただいただけでなく、大会に向けての精神面も多く教えられました。大会当日、チーム東大和はしっかり走り切りました。



▲練習風景  
高校生の速さを体で感じ取って

大会結果

男子の部	38位	↗	昨年より
女子の部	45位	→	
男女総合	39位	↗	
参加チーム数 50 チーム			

「平成28年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果」

下表は、東京都の平均値を上回った項目を強調して示したものです。

昨年度と比べ、男女ともに「握力(筋力)」「ハンド(ソフト)ボール投げ(投能力)」において多くの学年が東京都の平均値を上回りました。一方、「50m走(走力)」「20mシャトルラン・持久走(持久力)」は都の平均値を上回った学年は少なく、昨年に引き続き課題となりました。

体力合計点を見ると、都の平均値よりも上回る学年が増加し、市内小中学生の体力は改善傾向にあります。

生活習慣に関する調査結果からは、一日の運動時間が

30分未満であると回答した割合は、学年が進むにつれて特に女子に多くなる傾向にあります。

生涯にわたって、健康を保持・増進していくには、適切な運動習慣を身に付けることが大切です。学校では体育の授業等において、運動する楽しさを十分に味わわせてまいります。

また、ご家庭でもぜひ、親子で一緒に運動する機会を増やしていただくなど、体力向上の取組について、引き続きご協力をお願いいたします。

校種	学年	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	持久走(秒)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	リフター横(のり)跳び(回)	体力合計点	
男子	小学校	1年	9.3	10.9	26.9	26.5	-	16.7	11.5	114.0	8.0	30.2
		2年	11.2	14.2	28.2	30.2	-	26.7	10.6	124.3	11.8	37.6
		3年	13.4	16.9	29.8	35.8	-	37.9	10.0	134.0	16.3	45.0
		4年	15.3	18.7	31.8	37.9	-	43.0	9.5	144.7	18.1	49.5
		5年	17.6	20.3	33.5	41.3	-	51.0	9.3	151.6	23.7	54.8
		6年	20.3	21.6	33.9	43.7	-	60.4	8.9	162	26.3	59.4
中学校	1年	25.2	25.1	41.6	50.2	428.1	-	8.5	179.8	18.7	34.8	
	2年	28.8	27.0	43.0	52.8	386.8	-	8.1	192.8	20.6	40.8	
	3年	34.2	27.6	44.4	54.8	377.8	-	7.7	209.8	23.3	46.3	
都平均を上回る学年数の傾向(昨年度比)		↑	↓	↓	↑	→	↑	↑	↑	↑	→	

校種	学年	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	持久走(秒)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	リフター横(のり)跳び(回)	体力合計点	
女子	小学校	1年	8.5	10.5	28.7	25.1	-	14.2	12.0	103.5	5.1	28.9
		2年	10.5	13.9	30.3	29.3	-	20.4	11.0	115.4	7.0	37.3
		3年	12.0	16.1	33.4	33.5	-	27.2	10.4	125.2	9.2	44.4
		4年	14.6	18.5	35.0	37.2	-	34.9	9.7	137.6	11.6	51.6
		5年	16.9	19.3	37.7	38.8	-	37.7	9.6	142.2	13.0	55.1
		6年	20.0	20.2	39.5	41.3	-	45.3	9.2	150.4	14.6	59.6
中学校	1年	21.5	21.4	44.8	45.4	305.7	-	9.0	166.3	11.0	43.8	
	2年	23.9	23.1	44.5	48.0	287.0	-	8.8	169.8	12.7	48.4	
	3年	24.7	23.2	46.3	47.0	297.2	-	8.6	169.6	13.5	49.9	
都平均を上回る学年数の傾向(昨年度比)		↑	↓	↓	↑	→	↑	↓	↓	↑	↑	

人の多い通りを選んで歩こう。



平成28年10月26日(水)にハミングホールにて、学校・地域・保護者がともに学校教育を考えることを目的とした「教育の日やまと」発信！東大和市の学校教育を「開催しました」。

教育委員会から全国学力学習状況調査の結果を報告するとともに小学校低・中学年でしっかりと身に付けさせる学習の重要性について説明をしました。

学力向上プロジェクトからの報告では、国語・算数・道徳部会から授業実践を通して、発表をしました。幼稚園・保育園からは、幼稚園・保育園から小学校への円滑に接続するためのプログラムの作成について報告しました。

参加者からは、「学力向上に向けた授業方法をさらに研究して、取り組んでいこうと思います。」「学力向上プロジェクトの取組は大変参考になった。幼保

小連携の大切さや難しさ、特別の教科道徳における変更点等、さらに理解を深めていきたい。」等、感想が寄せられました。

「学校からの発信 東大和市の学校力」としては、第三小学校から『日記や書く指導等、言語活動の充実を通じた基礎・基本の徹底と思考力の育成について』、第十小学校から『あいさつや忘れ物ゼロ作戦等、学習や生活習慣を徹底した結果が学力の向上につながった実践について』、第五中学校から『スーパーアクティブスクール』としての体力向上を図る取組を実施し、全国平均値を上回る結果を出した実践について』の発表がありました。三校の発表から自校でも実践したい等のたくさん

の意見をいただきました。最後に沖縄美ら(ちゅら)島財団水族館事業部魚類チームリーダー野中正法博士をお招きして、「沖縄の海から見た環境問題 学校教育への期待」と題し、自然豊かな東大和市とのつながりを感じられるような貴重なお話をいただきました。

今後、「学校は地域の宝である」という意識をもち、学校と家庭、地域がより連携を密にして東大和市の子どもたちの学力、体力を一層伸ばし、豊かな心を養ってまいります。

## 「健康も にこにこ笑顔も よい歯から」

～歯の標語で東京都代表に～



市内小中学校では、むし歯予防のための取り組みとして、給食後の歯みがきや歯科コンクールへの応募等を行っています。

平成28年度「歯・口の健康啓発標語コンクール」において、第十小学校4年生池末羽花さんの標語「健康も にこにこ笑顔も よい歯から」が、応募作品の中から唯一「東京都学校歯科医会会長賞」を受賞し、東京都の代表作品として日本学校歯科医会へ推薦されました。

受賞作品のとおり、丈夫な歯を維持することが、健康とにこにこ笑顔につながります。

ご家庭でも、歯みがき習慣をつけることやかかりつけ医を持つ等、むし歯予防にご理解ご協力をお願いします。

平成28年度中学生の「税の標語」優秀作品受賞者

★市長賞

第三中学校1年 大津 正一郎

「叶えよう みんなの夢を この税で」

★立川間税会会長賞

第五中学校1年 明田 亜美

「消費税負担ではなく助け合い」

★全国間税会総連合会入選

第五中学校1年 峰岸 拓未

「税金で バトンをつなぐ 未来へ」と

第五中学校1年 松田 稜太

「税金のしくみを知って社会知る」

★東京国税局間税会連合会入選

第二中学校1年 佐賀 結斗

「ぼくたちもしっかり納める 消費税」

第四中学校1年 笹木 杏優果

「税金は 未来を作る 宝物！」

平成28年度中学生の「税についての作文」優秀作品 受賞者

★市長賞

第一中学校3年 松尾 結実

「知るべきこと」

第三中学校3年 小林 哲春

「税金のあり方とは」

第四中学校3年 今井 美空

「税金は要らない？とんでもない！」

★多摩納税貯蓄組合連合会優秀賞

第一中学校3年 佐藤 碧唯

「税金と協力の心」

★立川都税事務所長賞

第一中学校3年 太田 碧依

「納税の意識」

不審な車、発見したら近づかず小走りで逃げよう。



# 小学校のトイレ洋式化



平成 28 年度は第一小学校、第五小学校において、主に 1 年生が使用するトイレの洋式化を試行的に行っております。利用状況を確認し、引き続き、ほかの小学校においても計画してまいります。

試算として、1 校あたり 6 箇所、全体で 60 箇所の洋式化が完了しますと、小学校のトイレの洋式化率は、現在の約 3 割から約 4 割に向上します。

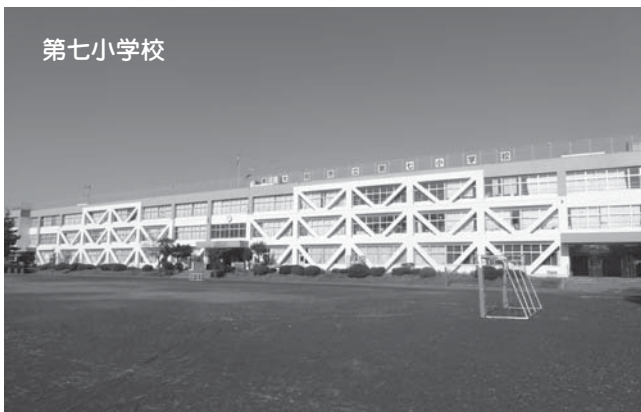
## 外壁工事が完了



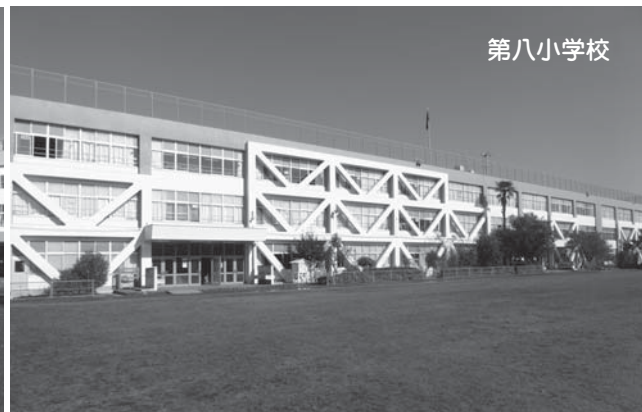
外壁のモルタル落下防止等のために実施している校舎外壁改修工事が、第七小学校、第八小学校で完了いたしました。モルタルのひび割れや浮きの補修と併せて、ガラスやサッシ周り等のシール補修、外壁の塗り替えを行いました。サッシや外壁からの雨漏りが改善されたほか、色合いも明るくなりました。

なお、本年度で市内小・中学校の計 13 校の外壁工事が完了しました。残りの 2 校につきましても、来年度に工事を実施する計画です。

第七小学校



第八小学校



暗くなる前に帰宅しよう。

郷土博物館企画展示 「ひなまつり」開催のお知らせ



博物館に春を告げる展示です。収蔵しているひな人形と、布あそびばれっとの皆さんのつるし飾りを展示します。

- ▶ 期 間 2月18日(土)～3月5日(日)
- ▶ 時 間 午前9時～午後5時
- ▶ 会 場 郷土博物館企画展示室
- ▶ 休館日 月曜日

＊関連イベント＊

◎子ども工作

「おひなさまになろう!」

おひなさまの衣装を着てみんなで記念撮影をしましょう。写真は、会期中館内に展示します。

- ▶ 日 時 2月19日(日)午後1時30分から
- ▶ 場 所 郷土博物館会議室
- ▶ 定 員 15人(申込順)
- ▶ 費 用 無料

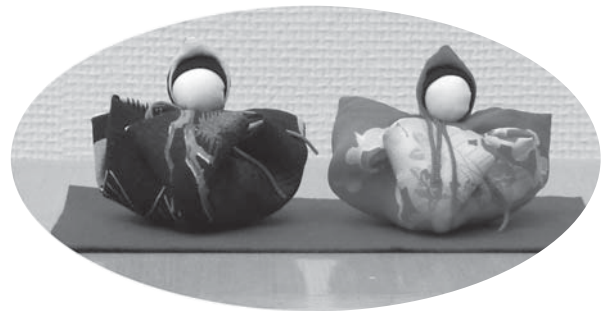
◎手作り講座「おひなさまを作ろう」

「布あそびばれっと」会員の指導でかわいい手作りのひな人形を作ってみませんか。

- ▶ 日 時 2月25日(土)・26日(日)  
午後1時30分から
- ▶ 場 所 郷土博物館会議室
- ▶ 定 員 両日とも20人(申込順)
- ▶ 費 用 実費1,000円
- ▶ 持ち物 裁縫道具

✿申込み・問合せ

郷土博物館 ☎042-567-4800



第27回多摩湖駅伝大会

～早春の多摩湖を走る!～

春分の日が多摩湖周辺及び都立狭山公園にて多摩湖駅伝大会を開催します。4人の仲間でタスキをつなぐランナーが自身の健脚を競います。

また、今大会も前回同様ロンドンオリンピック代表マラソンランナー藤原 新選手が所属する「アラタプロジェクト」のメンバーが走ります。コースで見かけたら、声をかけてください!!

- ▶ 日 時 3月20日(月・春分の日) ・開会式 午前8時30分から ・競技開始 午前9時30分から
- ▶ 種目・参加資格等 下表のとおり ▶ スタート・ゴール・中継所 多摩湖(村山貯水池)下堰堤広場
- ▶ 問合せ 社会教育課 内線1553

コース(距離)	種 目	参 加 資 格
多摩湖周回コース 28.968km 1区間7.242km	1 一般の部	官公庁、会社、大学、スポーツクラブ等の単位で編成されたチーム
	2 高校の部	高校、スポーツクラブ等の単位で編成された高校生チーム
公園周回コース 9.628km 1区間2.407km	3 一般の部	官公庁、会社、大学、高校、スポーツクラブ等の単位で編成されたチーム
	4 一般女子の部	官公庁、会社、大学、高校、スポーツクラブ等の単位で編成された女子チーム
	5 壮年の部	4名の競技者年齢合計が180歳以上で編成されたチーム(男女混合でも可、大会当日の満年齢)
	6 中学男子の部	中学校、スポーツクラブ等の単位で編成された中学男子チーム
	7 中学女子の部	中学校、スポーツクラブ等の単位で編成された中学女子チーム
	8 小学男子の部	小学校、スポーツクラブ等の単位で編成された小学男子チーム
	9 小学女子の部	小学校、スポーツクラブ等の単位で編成された小学女子チーム

不審者を発見したらすぐ110番!